

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成22年度上半期の状況】

本市の平成22年度上半期の給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて3,368,551 m³で前年度と比較して2.4%減少しています。また、給水件数は22,618件で0.8%減少しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益6億3,485万9千円（前年度5億3,208万8千円）で19.3%の増となっています。

これは、主に料金改定による給水収益の増加及び簡易水道事業の運営に係る他会計補助金の増加によるものです。

一方、総費用につきましては、税抜きで2億7,519万4千円（前年度2億7,270万8千円）で0.9%の増となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成21年度決算概要】

平成21年度の水道事業の業務量のうち年度末給水件数は、21,197件（上水19,059件、簡水2,138件）で前年度末に比べ1,917件（8.29%）減少し、年間給水量は、6,752,558m³（上水6,113,578m³、簡水638,980m³）で前年度に比べ202,159m³（2.91%）減少しました。

建設改良の状況につきましては、上水道事業では、合併創設第1次変更事業によるブロック化配水に向けた配水本管の布設工事等並びに県事業、農業集落排水事業、駅南区画整備事業などの公共工事に関連した配水管の移設及び布設工事を実施しました。簡易水道事業では、現在整備中の昭和簡易水道地区である作原地区の配水管布設工事等及び美袋配水池の緊急遮断弁設置工事等の施設整備工事を実施しました。昭和簡易水道の統合に向け引き続き計画的に事業を進めてまいります。

財政状況につきましては、上水道事業の事業収益は、料金収入8億2,748万9千円などの営業収益8億8,028万3千円、営業外収益234万円の合計8億8,262万3千円（税込額9億2,521万2千円）で、前年度に比べ6,642万1千円の増収となりました。事業費用は、営業費用7億2,450万1千円、営業外費用8,610万6千円、特別損失9万4千円の合計8億1,070万1千円（税込額8億4,390万5千円）で前年度に比べ3,199

万 2 千円の増加となりました。この結果平成 2 1 年度の収益的収支は、7,192 万 2 千円の当年度純利益が生じています。

簡易水道事業の事業収益は、料金収入 8,244 万 7 千円などの営業収益 8,649 万 2 千円、営業外収益 6,272 万 2 千円の合計 1 億 4,921 万 4 千円（税込額 1 億 5,352 万 2 千円）で、前年度に比べ 4,365 万 2 千円の減収となりました。事業費用は、営業費用 1 億 7,585 万円、営業外費用 2,989 万円、特別損失 4 千円の合計 2 億 574 万 4 千円（税込額 2 億 866 万 8 千円）で前年度に比べ 129 万 1 千円減少しました。この結果平成 2 1 年度の収益的収支は、5,653 万円の当年度純損失が生じています。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

1. 給水状況 上半期(H22. 9. 30現在)

区分	上水道			簡易水道		
	平成22年度	平成21年度	増減	平成22年度	平成21年度	増減
給水件数(件)	20,406	20,621	△ 215	2,212	2,187	25
給水人口(人)	56,375	56,968	△ 593	7,068	6,987	81
配水量 (m ³)	3,549,848	3,765,452	△ 215,604	386,700	382,128	4,572
給水量 (m ³)	3,050,425	3,126,224	△ 75,799	318,126	325,591	△ 7,465
有収率 (%)	85.9	83.0	2.9	82.3	85.2	△ 2.9

2. 損益計算書 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	444,645	43,330	487,975
(2) 営業外収益	1,618	145,266	146,884
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	446,263	188,596	634,859
(4) 営業費用	175,684	48,013	223,697
(5) 営業外費用	37,323	14,172	51,495
(6) 特別損失	2	0	2
総費用 (4)+(5)+(6) B	213,009	62,185	275,194
当期純利益(損失) A-B	233,254	126,411	359,665

3. 貸借対照表（平成22年9月30日）

上水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	7,835,026	固 定 負 債	92,896
流 動 資 産	1,968,676	流 動 負 債	275,918
		負 債 合 計	368,814
		資 本 金	3,230,498
		剰 余 金	6,204,390
		資 本 合 計	9,434,888
資 産 合 計	9,803,702	負 債 資 本 合 計	9,803,702

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,869,939	固 定 負 債	5,373
流 動 資 産	291,876	流 動 負 債	47,873
		負 債 合 計	53,246
		資 本 金	1,480,228
		剰 余 金	2,628,341
		資 本 合 計	4,108,569
資 産 合 計	4,161,815	負 債 資 本 合 計	4,161,815

4. 平成21年度決算の概要

損益計算書(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	880,283	86,492	966,775
(2) 営業外収益	2,340	62,722	65,062
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	882,623	149,214	1,031,837
(4) 営業費用	724,501	175,850	900,351
(5) 営業外費用	86,106	29,890	115,996
(6) 特別損失	94	4	98
総費用 (4)+(5)+(6) B	810,701	205,744	1,016,445
当年度純利益(損失) A-B	71,922	△ 56,530	15,392

貸借対照表 (平成22年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	7,590,483	固定負債	92,896
流動資産	1,892,545	流動負債	140,479
		負債合計	233,375
		資本金	3,315,595
		剰余金	5,934,058
		資本合計	9,249,653
資産合計	9,483,028	負債資本合計	9,483,028

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,807,495	固 定 負 債	5,373
流 動 資 産	224,005	流 動 負 債	86,756
		負 債 合 計	92,129
		資 本 金	1,501,683
		剰 余 金	2,437,688
		資 本 合 計	3,939,371
資 産 合 計	4,031,500	負 債 資 本 合 計	4,031,500

企業債残高明細

上水道

(単位 千円)

借 入 先	平成20年度 末 残 高	平 成 2 1 年 度		平成21年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	1,885,144	26,000	274,738	1,636,406	平成52年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	792,344	17,200	45,181	764,363	平成52年3月
吉備信用金庫	105,100	0	13,500	91,600	平成31年3月
中 国 銀 行	0	76,000	0	76,000	平成32年3月
ト マ ト 銀 行	0	104,300	0	104,300	平成27年3月
合 計	2,782,588	223,500	333,419	2,672,669	

簡易水道

(単位 千円)

借 入 先	平成20年度 末 残 高	平 成 2 1 年 度		平成21年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	971,931	0	29,731	942,200	平成50年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	358,989	53,200	6,881	405,308	平成52年3月
合 計	1,330,920	53,200	36,612	1,347,508	

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成22年度上半期の状況】

本市の平成22年度上半期の給水量（有収水量）は、142,427 m³で前年度と比較して8.1%増加しています。また、給水件数は昨年度と同様に19社に給水しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益1,668万6千円（前年度2,472万7千円）で32.5%の減となっています。これは契約給水量が減少したことが主な原因です。

一方、総費用につきましては、税抜きで861万円（前年度1,518万2千円）で43.3%の減となっています。これは、委託料及び特別損失の減少が主な原因です。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成21年度決算概要】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年度に一部給水を開始し、現在19社に給水しています。給水量は、契約水量1日3,000m³（19社の合計）に対し、1日平均給水量687.2m³、1日1社平均給水量36.2m³で、年間の給水量は250,829m³となりました。

平成21年度の事業収益は5,077万5千円（税込額5,206万3千円）で前年度に比べ68万5千円の減収で、そのうち給水収益は4,927万5千円で前年度に比べ3万5千円の減収となりました。事業収益の減少は、前年度に比べ受取利息等の営業外収益の減少が主な内容です。

事業費用は3,300万7千円（税込額3,429万3千円）で前年度に比べ908万3千円増額となりました。事業費用の増加は、委託料及び特別損失の増加が主な内容です。

この結果、収益的収支の差引で1,776万8千円の当年度純利益を計上することができました。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 上半期（平成22年9月30日現在）

区分	平成22年度	平成21年度	増減
給水件数(件)	19	19	0
年間契約給水量(m ³)	730,000	1,095,000	△ 365,000
配水量(m ³)	144,855	135,434	9,421
給水量(m ³)	142,427	131,701	10,726

2. 損益計算書 上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	16,678
(2) 営業外収益	8
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	16,686
(4) 営業費用	6,545
(5) 営業外費用	2,065
(6) 特別損失	0
総費用 (4) + (5) + (6) B	8,610
当期純利益 A - B	8,076

3.貸借対照表（平成22年9月30日）

工業用水道

（単位 千円）

項目	金額	項目	金額
固定資産	329,689	固定負債	10,631
流動資産	171,284	流動負債	897
		負債合計	11,528
		資本金	145,607
		剰余金	343,838
		資本合計	489,445
資産合計	500,973	負債資本合計	500,973

4. 平成21年度決算の概要

損益計算書(平成21年4月1日～平成22年3月31日)（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	49,275
(2) 営業外収益	1,500
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	50,775
(4) 営業費用	25,566
(5) 営業外費用	4,915
(6) 特別損失	2,526
総費用 (4) + (5) + (6) B	33,007
当年度純利益 A - B	17,768

貸借対照表（平成22年3月31日）

工業用水道

（単位 千円）

項目	金額	項目	金額
固定資産	329,689	固定負債	10,631
流動資産	180,595	流動負債	6,239
		負債合計	16,870
		資本金	157,652
		剰余金	335,762
		資本合計	493,414
資産合計	510,284	負債資本合計	510,284

企業債残高明細（平成22年3月31日現在）

工業用水道

（単位 千円）

借入先	平成20年度 末残高	平成21年度		平成21年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	52,666	0	7,579	45,087	平成29年3月
公営企業金融公庫	60,757	0	15,725	45,032	平成26年3月
合計	113,423	0	23,304	90,119	